

ぼうさい通信 Vol.24



令和元年7月16日発行
熊本県立湧心館高等学校

今月のテーマは・・・「海や山での災害」

6月26日（水）に令和初の梅雨入りとなりました。平年に比べ21日遅い梅雨入りです。ただ、6月30日（日）は前夜から降り続いた雨により、ビジネス文書実務検定試験が中止、通信制も休校となりました。下江津湖の公園も駐車場まで水に浸かり、江津湖がいつもよりも大きくなっていたのを初めて見ました。幸い大きな災害も起こることがありませんでしたが、豪雨と呼ばれる時には最善の注意が必要です。

全日制では今年度から防災委員会を立ち上げました。『』内は防災委員会の生徒達が考えてくれたものです。

海での災害

平成23年に起こった東日本大震災では、震度7の地震の後に津波が到来し、様々な物が一瞬にして流されてしまいました。このように地震による津波の他、台風や爆弾低気圧による高波も、沿岸部では恐ろしい災害になってしまうこともあります。海に行くこともあるかと思いますが、十分に気を付けなければなりません。

『海では高波があったり潮の流れが速い場所があったりなど、非常に危険なので海が荒れていないか確認して体調が悪い時などの遊泳は控えるようにしましょう。』

全日制 防災委員会 3年生

山での災害

熊本県で山での災害と聞くと、阿蘇山の噴火を連想するのではないのでしょうか。今年4月に阿蘇山が噴火しましたね。噴火警戒レベルが1から2に引き上げられ、「火口周辺規制」となりました。火口付近への立ち入りができなくなりました。

また、梅雨との関連で言えば、土砂災害です。雨が降り続けば地盤が緩み土砂崩れを起こしやすくなります。土砂崩れの予兆としては、崖から小石が落ちてきたり、普段出ないところから水が湧いたり、木の根が切れる音や斜面に亀裂が入ったりするようです。このような兆候があると危険です。

防災情報を聞き逃すことが無いように

熊本地震の時には緊急地震速報が非常に多く流れました。海や山でもテレビやラジオ、町内放送などから防災情報が流れます。そういう情報は聞き逃さないようにしましょう。また、何か起こった場合でも慌てずに行動できるようにしておきましょう。